

(再生瓦の砕石細骨材利用研究開発)

田中建材株式会社

事業目的	再生瓦の砕石細骨材利用研究開発により、今まで産業廃棄物として処分していた瓦を発生抑制・資源化する研究開発を目的とする。																		
事業概要	<p>瓦の破碎方法の研究や破碎物の粒度調整を行い、試験を繰り返し最適な配合を導き出した。最終の試験結果から、高い修正 CBR 値が得られる製品開発に成功した。</p> <p>※修正 CBR 値とは、路盤材を最大乾燥密度の 95% に締め固めたものに対する舗装の路盤材として（上層路盤および下層路盤）の適否判定に用いるもの。</p>																		
事業結果	<p>今まで資源化できなかった瓦を 100%、再生砕石と混合し製品として出荷できるようになった。</p> <table border="1" data-bbox="327 1198 1468 1478"> <thead> <tr> <th></th> <th>発生量</th> <th>資源化量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 28 年度(補助事業前)</td> <td>132t</td> <td>0t</td> </tr> <tr> <td>平成 29 年度(補助事業 1 年目)</td> <td>165t</td> <td>165t</td> </tr> <tr> <td>平成 30 年度(補助事業 2 年目)</td> <td>231t</td> <td>231t</td> </tr> <tr> <td>令和元年度(補助事業 3 年目)</td> <td>175t</td> <td>175t</td> </tr> <tr> <td>令和 2 年度(補助事業 4 年目)</td> <td>69t</td> <td>69t</td> </tr> </tbody> </table>		発生量	資源化量	平成 28 年度(補助事業前)	132t	0t	平成 29 年度(補助事業 1 年目)	165t	165t	平成 30 年度(補助事業 2 年目)	231t	231t	令和元年度(補助事業 3 年目)	175t	175t	令和 2 年度(補助事業 4 年目)	69t	69t
	発生量	資源化量																	
平成 28 年度(補助事業前)	132t	0t																	
平成 29 年度(補助事業 1 年目)	165t	165t																	
平成 30 年度(補助事業 2 年目)	231t	231t																	
令和元年度(補助事業 3 年目)	175t	175t																	
令和 2 年度(補助事業 4 年目)	69t	69t																	
今後の課題と方針	<p>家屋の解体現場で産業廃棄物としか扱われてこなかった瓦を資源化し、再生砕石として活用できることを広めるとともに、特に公共工事でも利用して頂けるように販路拡大に努めたい。瓦を利用した再生砕石は路盤材としての質が悪いという先入観を客観的なデータを提示し、無くして行くことが受注獲得につながると考えている。</p>																		